

2023年3月30日

A T Mコーナーへの現金封筒設置終了および 古紙再生によるエコ現金封筒作製の取り組みについて

佐賀銀行（頭取 坂井 秀明）は、2023年7月1日より店内外の全ATMコーナーの現金封筒の設置を終了しますので、お知らせいたします。

当行では、2010年10月に制定した「環境方針」に基づく取り組みの一環としてペーパーレスや保存期限を過ぎた行内文書を再利用し、紙資源の節減に努めています。そうした地球環境保全の観点から、現金封筒の設置終了を決定いたしました。お客さまにはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

また、当行ではより一層の環境負荷の低減を図るため、セイコーエプソン社の古紙再生機器「ペーパーラボ」を九州の金融機関で初めて導入しました。「ペーパーラボ」とは、使用済みの紙を原料として、新たな紙を生産できるオフィス製紙機です。

ペーパーラボを活用した発展的な取り組みとして、ペーパーラボで再生した紙を用いて県内の就労支援施設に委託し「エコ現金封筒」を作製します。同封筒は、地球環境に配慮し繰り返し利用できるよう厚手の紙質で作製しますのでご活用いただければ幸いです。

当行グループは、今後も地域活性化に繋がる取り組みを支援し、持続可能な地域社会の実現に向けて貢献してまいります。

記



1. 現金封筒設置終了日 2023年6月30日（金）
2. 設置終了箇所 佐賀銀行 店内・店外A T Mコーナー
3. その他 現金封筒が必要なお客さまには、各店舗窓口でご用意しておりますので、お気軽にお声かけください。

以上

《本件に関するお問い合わせ先》
「A T Mコーナーへの現金封筒設置終了」の件
業務管理サポート部 担当：武藤
TEL 0952(22)2155
「古紙再生によるエコ現金封筒作製の取組み」の件
総合企画部 担当：西山
TEL 0952(25)4553
<https://www.sagabnk.co.jp>

<PaperLab（ペーパーラボ）の概要>

「ペーパーラボ」とは、使用済みの紙を原料として、新たな紙を生産できるオフィス製紙機です。使い終わった紙を「その場で」「数分で」新しい紙にすることができ、環境負荷の低減、秘密保持、再生紙の生成という役割を担っています。

当行では、行内で排出される文書や保管期限が過ぎた過去の排出文書をペーパーラボで再生することで、行内で使用する紙に起因する紙資源を節減し、地球環境の保全に貢献します。その他にも、ペーパーラボは文書情報を機器内で完全に抹消した上で新たな紙を生産するため、機密文書の処分にも最適とされています。

また、出来上がった紙は、行内のコピー用紙として利用するだけでなく、アップサイクル[※]し、名刺やエコ現金封筒、地域の子どもたちに向けた環境教育など各種イベントに活用していきます。

※アップサイクル・・・使わなくなったものや廃棄物に新たな価値を与えて再利用すること。

